

令和3（2021）年度 森林環境譲与税に関する決算状況（使途の公表）

市町村名	事業区分	事業名	事業総額			事業内容	実績	税導入の効果	
			うち令和3年度の森林環境譲与税	うち基金取崩し額	うち他の財源				
高根沢町	基金積立（森林整備等）	森林環境譲与税基金	712,000	712,000	0	0	・高根沢町における森林の間伐・林業に係る人材育成及び担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等を目的とした森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源に充てるため、高根沢町森林環境譲与税基金を設置。	<p>【ワンフレーズ】 税活用により、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林クラウドシステムを活用し、今年度以降で調査を予定している地区の林地台帳整備や地図作成による対象エリアの可視化を図ることができた。 ・公有林の各種整備により、危険箇所の減少かつ周辺の森林の生長促進へ繋がった。 ・新型コロナウイルス感染症による影響は受けつつも、木工体験教室を実施し、木にふれあう体験を共有することができた。 <p>【詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高根沢町においても、本税への関心が高まっていることから、本税を活用した「主に私有林を対象とする森林経営管理制度の実施」や「倒木事故等のトラブルの未然防止へ繋げる公有林の整備」、「普及啓発を目的とした行事の開催」を計画した。 ・森林経営管理制度の実施については、森林クラウドシステムの地図にて樹種（針葉樹・広葉樹・地域森林計画対象林）ごとに色分けした地図データを用いたり、課税情報の提供を受け林地台帳の整備を実施したりと意向調査の準備に向けた取組が実現できた。 ・整備した森林のデータを用いて令和4年度・5年度は直営での意向調査を進めていきたい。 ・公有林の整備については、現状限られた箇所でのみの実施となっている。他の所管課と調整し、必要な森林整備を行えるように進めていきたい。 ・普及啓発活動は、委託先のNPO法人からの報告書から「コロナ禍で体験教室が少なくなっている中、体験者が喜んでくれている」「幼児向けのコーナーも親子で楽しんでいる姿を多く見かけている」とあり、引き続き木工体験を通じた木材普及活動は必要であると考えられる。 	
高根沢町	① 意向調査の準備作業	森林クラウドシステム保守管理業務	53,814	53,000	0	814	・意向調査事前準備として、令和3年度から「栃木県森林クラウドシステム」に参加し、町内森林の状況整理を実施するもの。		<ul style="list-style-type: none"> ・林地台帳整備 ・樹種毎に色分けした地図データ作成
高根沢町	④ 公有林整備（財産区有林含む）	里山林整備事業	150,000	150,000	0	0	・町有の敷化した森林について、隣接する里山林と資源を有効かつ持続的に一体的な利活用を図るために整備を行うもの。		<ul style="list-style-type: none"> ・下草刈り：0.885ha
高根沢町	④ 公有林整備（財産区有林含む）	枯れ木伐採業務	1,058,200	1,058,000	0	200	・町有林のうち、公共施設近辺の倒木の危険がある松や桜について伐採を実施するもの。		<ul style="list-style-type: none"> ・合計13本の危険木の伐採（松・桜） ・ケヤキの枯れ枝伐採
高根沢町	⑤ 森林保護対策	松くい虫防除業務	484,000	484,000	0	0	・町有林のうち、アカマツが150本程度群生している箇所において松くい虫の被害が蔓延しているため、樹幹注入を実施するもの。		<ul style="list-style-type: none"> ・アカマツ34本に対し、薬剤を166本注入
高根沢町	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	木の良さ普及啓発事業	340,000	340,000	0	0	・町内のNPO法人に業務委託し、町内の小学生を対象とした「マイ箸づくり等の木工体験教室」を年間を通して開催を計画。木材の良さ、森林・林業への理解の醸成を図るもの。		<ul style="list-style-type: none"> ・全15回・延べ参加人数549人